



一人の一步が命をつなぐ 献血が持つ力

冬場から春先にかけては、風邪で体調を崩す人が多いなど、献血する人が減少して血液が不足します。大切な命を救うため、誰かのために献血をしてみませんか。あなたにも救える命があります。

献血を知る

Q 献血で病気に感染することはないですか？

A 献血に使用する採血針などの器具は、全て滅菌済みの新品で一度しか使いません。病気に感染する心配は全くないので安心してください。

Q 献血は十分足りていますか？

A 国内で1日当たり約3,000人が輸血を受けているといわれています。献血者数は季節的な変動があるため、一時的に血液が不足することがあり、大量に使用した場合など血液型の偏りが生じることもありま

す。血液は長期保存ができないので、特に献血者が減少する時期には積極的に協力してください。

Q 薬を服用していると献血はできませんか？

A 病気の種類や、薬の種類によって献血をできない場合があります。ビタミン剤やごく一般的な胃腸薬などについては支障ありませんが、薬の種類だけでなく、献血者の体調、服薬の目的、症状などを総合的に考慮して、医師が献血をできるかどうかの最終的な判断を行います。外用薬、座薬、点眼・点鼻薬などについても、医師の判断により、献血できない場合があります。

Q 血液が回復するまでの期間はどれくらいですか？

A 献血後の日常生活への影響は、献血量が血液の中を流れている血液量の15%以下であれば、問題ありません。献血後の血液量は、水分を摂取することにより短時間で回復します。200ml献血の場合、赤血球は2～3週間で回復し、400ml献血の場合は、3～4週間で回復するといわれています。

【千葉県赤十字血液センター】